

令和6年度 第3回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和7年3月25日（火） 15:00～16:10 政策審議室		
議題	(1)「えびな元気にぎわい振興計画2024」の進行管理について (2)令和6年度 にぎわい振興事業について (3)令和7年度 にぎわい振興事業（案）について		
出席委員	羽田会長、鳩貝委員、中原委員、橋本委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、半澤委員、勝田委員 計9名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	経済環境部長 佐藤、経済環境部次長 吉沢、商工課長 山田、商工課長補佐 左藤、にぎわい振興係 今野、山口		

1 開会

2 あいさつ

3 議題

議題 「えびな元気にぎわい振興計画2024」の進行管理について

■事務局より「えびな元気にぎわい振興計画2024」の進行管理について説明
⇒意見なし、了承

議題 令和6年度 にぎわい振興事業について

■事務局より令和6年度 にぎわい振興事業について説明

委 員 シェアサイクルについて、利用者はどういう用途で利用しているのか。

事 務 局 実証実験期間を延長する中で、アンケートを1回行った。アンケートの結果、利用用途は、通勤通学が一定数みられる。買い物も多く、土日の利用がやはり、にぎわいに繋がる側面が見られる。それらの利用状況を踏まえ、また月々の利用時間帯等もグラフで示されているデータもあるため、それらを加味しながら、公共交通としての補完的な部分と、あとはにぎわいにどのように関わっていくのかを、これからさらに分析して海老名市にとってこのシェアサイクルが有効かどうか今後検証していきたい。

委 員 えびぼたでインスタとYouTubeをされているということだが、これは、「いいね」のカウントの評価は必要なく、アップすれば終わりという認識でいいか。

事 務 局 本来はそこのステップまで持っていくべきだと思っているが、数字としては伸び悩んでいるところが課題である。できるだけ多くの方に見えていただけるよう

な仕組みづくりは必要だと思っている。

委 員 掲載元のチャンネルのベースが大事だと思うが、「海老名市」のチャンネルが
いいのか、別の方がいいのか、その目的に合わせて、どこに載せるかというこ
とは必要だと考える。もちろん市民が閲覧する場合は、市でもよいと考える。
しかし最近では、観光系だとあまり、行政のチャンネルは数字が伸びない。その
ため、観光専門でチャンネルを作成するなど、別の目的で中身が沿った形でで
きたほうがよいのではないかと考える。目的によってだと思ふ。

ところで、にぎわい振興ガイドだが、今回 68 人ということだが、募集人員は
何人だったのか。

事 務 局 1 回の申し込みにつき、定員は 40 名だった。定員には達していたが、当日のキ
ャンセルの方がいらした。多くて 5 人ほどおり、40 名には達しないことが多
い。

委 員 無料なのか。無料はキャンセル率が高い。

委 員 第 1 回の 6 月の時は、前日が大雨だった。当日は、ひどい道だったので中止
された方が結構いらっしゃる。

委 員 全然止めないわけではないが、申し込みから漏れた方たちが参加できなかった
ということもあるため、なるべく広めに予約を取ってあげたほうがよいと考
える。できればこの発表の時に、数字だけの話ではなく、多くの申し込みがあ
ったが、残念ながら…くらいの話の方が多分報告としていいのではないかと
思ふ。

委 員 シェアサイクルについて。利用回数は 12 月が一番多いようだが、年末の買
物ということなのか。

事 務 局 冬場の利用者は減少傾向にあるが、12 月頃は座間や綾瀬でシェアサイクルが
開始されているので、海老名の駅周辺で借りる人も増えたのではないかと考
えている。1 月、2 月は冷え込みが多かったこと、2 月は日数的に少ないとい
うこともあり、減少しているのではないかと考える。

今後 3 月、4 月に暖かくなると、さらに増えるかと想定している。

駅周辺やららぽーとなどでもステーションが増えているので、利用が増える
のではないかと想定している。

委 員 利用希望だったが、実際には自転車が使えなかったという例はあるのか。

事 務 局 やはり利用が増えるとクレームもある。どうしても電動アシスト自転車な
ので、バッテリーが切れている、時間帯によっては駅周辺に自転車が集まり
すぎている、駅前に自転車がない時間帯があるなどの報告は寄せられている。
ステーションが増えることにより、そのようなことが徐々に解消されるのでは
ないかと考えている。

委 員 充電は、結構時間がかかると聞いたがどうか。

事務局 そこは、アナログなシステムとなっている。

江ノ島電鉄が管理会社として協定事業者になっており、人力でバッテリー交換を行っていただいている。

委員長 電動キックボードが東京に結構あるが、管理会社、管理する責任の会社か団体がコンセントで充電して、また戻すという作業をやっている状況である。

充電器は電気物なので、携帯電話のように、徐々にバッテリーの率が悪くなる。増えたら新しいものを入れていかないと、全部が同時に古くなるとみんな駄目になってしまう。そのあたりはメーカーや事業者の方でコントロールしてもらったり、キックボードを扱っている地域では少しずつ入れ替えたりしている。なのでナンバーが変わっているのだが、台数が増えれば増えるほど、管理の方が大変である。トラックに自転車を積み、充電のスポットまで行って、そこで充電している。どこの自治体でも自転車とキックボードの運用コストは利用料金でカバーできない。地方の場合、多分ほとんど自治体がカバーをしないと赤字だと思う。

事務局 今、この実証実験については、市は費用負担を全くしてないところで、公共施設の公共用地を市の事業と関連づけて無償提供しながら進めているところである。今後、黒字化を目指すところだが、黒字化は困難である。

委員長 スタンプラリーと連動して、自転車で回ってもらうのはどうだろうか。自転車で回った人にはもう少し何かできるようなことがあればと思う。

⇒了承

議題 令和7年度 にぎわい振興事業（案）について

■事務局より令和7年度 にぎわい振興事業（案）について説明

委員長 例えば、いちごワインをまた復活させる場合、補助金を利用できるのか。

事務局 ぜひ利用していただきたいと思っている。

委員長 大変金銭的に負担がかかり、1人ではとても大変なので、利用できればとてもありがたいと思っている。

委員長 令和7年度予算の100万円は取れているのか。

事務局 100万円ですべて予算計上させていただいている。

委員長 1件につき上限50万円だと思うが、2件申請があった場合、予算的には100万円になってしまうと思う。申請があった案件を、ある程度審査されると思うがどのようにしているのか聞きたい。

事務局 100万円しか予算確保できていないのだが、相談件数が多いようなら、補正予算等も検討しながら進めていきたいと思っている。

委員長 「海老名市名産品」の定義を教えてほしい。

事務局 以前認定された時の名産品は終了している状況である。この補助金を用いて名

産品を作っていただき、令和8年度以降にまた改めて名産品の認定事業を立ち上げて、名産品認定をしていくものと考えている。そのため、「名産品開発」という補助金のネーミングを使っているが、補助金を出したからといって、認定までしているわけではない。今後改めて認定制度の検討を行っていきたい。また、この補助メニューを使っていないが、名産品認定を希望するので、新たに制度はないのか、という問い合わせもある。なので、広く周知して名産品を増やしていきたいと考えているところである。

委員 平成28、30年度認定した時の名産品の定義が知りたい。

事務局 市の地域産業の振興につながる要素を持つ商品である、高い品質と安全性を保証して、信頼性のある商品であること、安定供給が見込める商品であること。市内で創業している事業者によって作られているもので認定がされていた。

委員 海老名のイメージ向上に寄与するものを対象とするということで、この補助対象事業を申請したい、利用したいという方々に対象事業の中身がわかるようにしておかないと混乱すると思う。そのあたりをもう少し具体的にした方がよいと考える。

委員 この名産品の定義というのは、なんとなく理解したような気がするが、令和8年度以降の名産品認定事業を立ち上げるということは、今認定されている商品があるのか。

事務局 平成28年から平成30年度に認定したものが、このガイドブックの中に載っている商品があり、公式で認定されているものになる。

委員 認定した時の定義はしっかりとあるということでよいか。

事務局 はい。その時に認定した時の定義が存在する。

今回も補助金の交付要綱の中で、市を挙げて誇れるもので、市のイメージアップにつながる商品であること、など定義を定めて、補助金を交付していきたいと考えている。

委員 この補助対象経費補助金は、立ち上げのときしか支払われないのか。認定されたものは年度ごとに、パッケージ料などというのは払われるのか。また、継続して払われるのか。

事務局 支払われるのは、立ち上げの時のみ、1年間に1回の事業申請になっている。

委員 最近ネットで話題になっている3月21日まで行われた海老名市役所から駅までの相鉄バスとの自動運転事業について聞きたい。にぎわいの目的に使えるのではないかと思ったのだが。海老名市のどちらの部署が関わっていたのか聞きたい。

事務局 まちづくり部の都市計画課である。実証実験という形で行っていたので、検証は、まちづくりの方で行われると考える。今いただいた意見は伝えておく。検証結果が出たら、情報提供させていただきたい。

⇒了承

4 その他

事務局より、次回の開催日程について連絡

令和7年5月29日（木）14時から

人事異動について報告

5 閉会